

II 主な事業別の状況

1 上水道事業

(1) 施設及び業務の状況

決算調査の対象となったのは、28事業（前年度比1事業増）である。年間総配水量は対前年度比0.6%増の142,497.02千m³であり、給水人口は対前年度比0.2%減の128万5千191人となっている。これを行政区域内人口に対する普及率で見ると95.0%、計画給水人口に対する普及率で見ると、87.8%となっている。また、有収率は86.3%で前年度より0.3ポイント増となっている。有収率を規模別にみると、給水人口15万人以上の団体（3団体）が88.6%で最も高い有収率となっている。〔第9表〕

第9表 施設及び業務概要

(単位：人、%)

項 目	規 模 別					合 計
	15万人以上	5万人以上 15万人未満	3万人以上 5万人未満	1.5万人以上 3万人未満	1.5万人未満	
行政区域内人口 (A)	819,128	186,028	116,564	66,377	165,016	1,353,113
計画給水人口 (B)	888,925	198,368	114,170	64,785	197,672	1,463,920
現在給水人口 (C)	797,698	175,849	106,529	60,598	144,517	1,285,191
行政区域内人口に対する普及率(C) / (A)	97.4	94.5	91.4	91.3	87.6	95.0
計画給水人口に対する普及率 (C) / (B)	89.7	88.6	93.3	93.5	73.1	87.8
有 収 率	88.6	85.2	82.9	83.6	79.2	86.3

(注) 用水供給事業を除く。

(2) 収益的収支の状況

総収益対総費用比率は112.0%で、前年度に比べ0.3ポイント減となっており、収益費用別では総収益が2.2%増、また総費用が2.4%増となっている。

単年度収支では、純損失を生じた事業が3事業（前年度1事業）となっており、金額的にも1億8,046万8千円（前年度2,500万2千円）と赤字が増となっている。

累積欠損金は3億4,963万6千円で、前年度2億5,526万8千円より9,436万8千円（37.0%）の増となっている。〔第10表〕

第10表 決算状況の推移

(単位：千円、%)

年 度 項 目		20 年 度	21 年 度	22 年 度	23 年 度	24 年 度	増 減 率 (24/23)
		総 収 益	32,097,906	31,984,578	32,032,110	31,213,996	31,893,417
うち 営 業 収 益 (A)	30,271,214	30,276,783	30,420,512	29,720,575	30,166,041	1.5	
総 費 用	29,605,940	28,893,296	28,262,091	27,799,422	28,467,682	2.4	
純 利 益	2,518,111	3,100,920	3,773,457	3,439,576	3,606,203	4.8	
純 損 失 (B)	26,145	9,638	3,438	25,002	180,468	621.8	
累 積 欠 損 金 (C)	634,533	540,533	377,314	255,268	349,636	37.0	
不 良 債 務 額 (D)	31,444	49,685	37,867	47,782	0	△ 100.0	
赤字額等の営業収益に対する割合	(B) / (A)	0.1	0.0	0.0	0.1	0.6	
	(C) / (A)	2.1	1.8	1.2	0.9	1.2	
	(D) / (A)	0.1	0.2	0.1	0.2	0.0	
事 業 数 (E)	29	29	27	27	28	3.7	
純 損 失 を 生 じ た 事 業 数 (F)	2	1	1	1	3	200.0	
累 積 欠 損 金 を 有 す る 事 業 数 (G)	4	4	3	3	3	0.0	
不 良 債 務 を 有 す る 事 業 数 (H)	1	1	1	1	0	△ 100.0	
純 損 失 を 生 じ た 事 業 数 の 割 合 (F) / (E)	6.9	3.4	3.7	3.7	10.7		
累 積 欠 損 金 を 有 す る 事 業 数 の 割 合 (G) / (E)	13.8	13.8	11.1	11.1	10.7		
不 良 債 務 を 有 す る 事 業 数 の 割 合 (H) / (E)	3.4	3.4	3.7	3.7	0.0		
総 収 益 対 総 費 用 比 率	108.4	110.7	113.3	112.3	112.0		

(注) うち営業収益 (A) は受託工事収益を除く。

(3) 資本的収支の状況

資本的収入は、104億2,435万6千円で、前年度79億93万3千円より31.9%増加し、資本的支出は232億7,688万8千円で、前年度211億7,105万7千円より9.9%増となっている。

資本的収入の財源のうち企業債が65億7,360万円で、前年度47億2,480万円より39.1%増加し、内部資金等の補てん財源は対前年度比2.8%減の128億5,253万2千円（前年度132億2,234万2千円）となっている。〔第11表〕

第11表 資本的収支の状況

(単位：千円、%)

項目	区分 年度	金額		増減率 (24 / 23)	
		23年度	24年度		
資本的支出	建設改良費	10,880,433	11,977,646	10.1	
	企業債償還金	10,070,091	11,087,787	10.1	
	その他	220,533	211,455	△ 4.1	
	計	21,171,057	23,276,888	9.9	
財源内訳	内部資金	13,222,342	12,852,532	△ 2.8	
	外部資金	7,900,933	10,424,356	31.9	
	うち	企業債	4,724,800	6,573,600	39.1
		他会計出資金	846,701	1,069,364	26.3
		他会計負担金	46,102	26,871	△ 41.7
		他会計借入金			
		他会計補助金	214,951	169,972	△ 20.9
	調整項目				
	財源不足額	47,782	0	△ 100.0	
	計	21,171,057	23,276,888	9.9	

(4) 資金繰りの状況

流動比率（流動資産／流動負債）は801.8%と前年度（854.3%）より52.5ポイント減少している。〔第12表〕

第12表 資金繰りの状況

(単位：千円、%)

年度	項目 流動比率	一時借入金の状況	
		一時借入金	営業収益に対する割合
20年度	708.3	20,000	0.0
21年度	843.8	20,000	0.0
22年度	1,208.4	33,000	0.1
23年度	854.3	80,000	0.3
24年度	801.8	0	0.0

2 交通事業

(1) 施設及び業務概要

交通事業は、青森市及び八戸市においてバス事業が行われている。一般乗合分の在籍車両は282両で、前年度（300両）に比べ18両減となっている。輸送人員は年間15,732千人、一日当たり43,103人で、前年度に比べ一日1,010人増となっている。〔第13表〕

第13表 経営規模

区 分		年 度				
		20 年 度	21 年 度	22 年 度	23 年 度	24 年 度
施 設	営 業 路 線（km）	470.3	457.3	459.8	460.7	450.5
	運 転 系 統 路 線（本）	311	284	289	288	285
	在 籍 車 両（両）	304	286	288	300	282
	平 均 車 齢（年）	14.0	14.6	14.7	14.9	15.6
業 務	年 間 走 行 キ ロ（千km）	8,397	8,274	7,998	8,158	8,021
	一 日 走 行 キ ロ（千km）	23	22	22	22	22
	年 間 輸 送 人 員（千人）	16,369	15,670	15,193	15,382	15,732
	一 日 輸 送 人 員（人）	44,847	42,931	41,624	42,093	43,103
	年 間 輸 送 収 益（千円）	3,766,635	3,395,623	3,343,471	3,370,918	3,271,332
	一 日 輸 送 収 益（千円）	10,320	9,303	9,160	9,227	8,963

(注) 一般乗合分のみを記載した。

(2) 収益的収支の状況

総収益対総費用比率は、97.4%で前年度（96.9%）に比べ0.5ポイント高くなっている。

不良債務額については5億4,310万4千円生じており、前年度の8億5,579万1千円に比べ3億1,268万7千円（36.5%）の減となっている。〔第14表〕

(単位：千円、%)

年 度		年 度					増 減 率 (24/23)
		20 年 度	21 年 度	22 年 度	23 年 度	24 年 度	
項 目							
総 収 益		4,493,773	4,299,006	4,388,114	4,329,365	4,101,236	△ 5.3
うち 営 業 収 益 (A)		3,858,236	3,442,034	3,387,750	3,409,825	3,312,177	△ 2.9
総 費 用		4,531,605	4,565,467	4,466,458	4,467,250	4,210,797	△ 5.7
純 利 益		72,108	20,468	49,424	20,986	127,599	508.0
純 損 失 (B)		109,940	286,929	127,768	158,871	237,160	49.3
累 積 欠 損 金 (C)		1,051,819	1,318,281	1,291,181	1,426,596	1,531,890	7.4
不 良 債 務 額 (D)		1,255,899	1,086,541	1,000,526	855,791	543,104	△ 36.5
赤字額 等の営業 収益に 対する 割合	(B) / (A)	2.8	8.3	3.8	4.7	7.2	
	(C) / (A)	27.3	38.3	38.1	41.8	46.3	
	(D) / (A)	32.6	31.6	29.5	25.1	16.4	
事 業 数 (E)		2	2	2	2	2	0.0
純 損 失 を 生 じ た 事 業 数 (F)		1	1	1	1	1	0.0
累 積 欠 損 金 を 有 する 事 業 数 (G)		2	2	2	2	2	0.0
不 良 債 務 を 有 する 事 業 数 (H)		2	2	2	2	2	0.0
純 損 失 を 生 じ た 事 業 数 の 割 合 (F) / (E)		50.0	50.0	50.0	50.0	50.0	
累 積 欠 損 金 を 有 する 事 業 数 の 割 合 (G) / (E)		100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	
不 良 債 務 を 有 する 事 業 数 の 割 合 (H) / (E)		100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	
総 収 益 対 総 費 用 比 率		99.2	94.2	98.2	96.9	97.4	

(3) 資本的収支の状況

資本的収入は5億7,695万8千円で前年度2億7,994万4千円より2億9,701万4千円(106.1%)増加し、資本的支出については6億4,755万5千円と前年度4億8,693万8千円より1億6,061万7千円(33.0%)増となっている。[第15表]

第15表 資本的収支の状況

(単位：千円、%)

項目	区分 年度	金額		増減率 (24 / 23)	
		23年度	24年度		
資本的支出	建設改良費	286,987	418,188	45.7	
	企業債償還金	108,299	142,554	31.6	
	その他	91,652	86,813	△ 5.3	
	計	486,938	647,555	33.0	
財源内訳	内部資金	90,860	70,597	△ 22.3	
	外部資金	279,944	576,958	106.1	
	うち	建設改良のための企業債	277,600	377,700	36.1
		他会計補助金	716	82,650	11,443.3
		他会計借入金			
	財源不足額	116,134	0	△ 100.0	
計	486,938	647,555	33.0		

(4) 資金繰りの状況

一時借入金は4億5,005万8千円で、前年度8億2,962万9千円より3億7,957万1千円(45.8%)減となっている。

また、流動比率(流動資産/流動負債)は37.2%で、前年度31.1%より6.1ポイント高くなっている。[第16表]

第16表 資金繰りの状況

(単位：千円、%)

年度	項目 流動比率	一時借入金 の 状 況	
		一時借入金	営業収益に対する割合
20年度	14.5	1,026,624	26.6
21年度	17.3	796,150	23.1
22年度	28.9	925,868	27.3
23年度	31.1	829,629	25.0
24年度	37.2	450,058	13.6

3 病院事業

(1) 施設及び業務概要

平成24年度の病院数は26病院であり、その経営主体別の内訳は市が経営する病院が7病院、町が経営する病院が11病院、一部事務組合等が経営する病院が8病院となっている。〔第17表〕

26病院全体での病床数は4,849床(一般病床4,219床、療養病床295床、結核病床0床、精神病床321床、感染症病床14床)であり、病床利用率は73.9%で前年度を0.4ポイント下回っている。

病床利用率を規模別に比較すると、200床以上300床未満の病院が80%を超えているが、100床以上200床未満の病院では70%以下となっている。

延べ患者数については、年間入院延べ患者数132万人、外来延べ患者数238万9千人、合計で370万9千人となっている。〔第18・19表〕

第17表 施設及び概要

区分 病院規模	自治体病院数	経営主体		
		市	町	一部事務組合等
500床以上	2	2		
300床以上500床未満	3	1		2
200床以上300床未満	3	3		
100床以上200床未満	8	1	4	3
100床未満	10		7	3
計	26	7	11	8

第18表 患者数・病院数の推移

年度 項目	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度
入院延患者数(千人)	1,429	1,397	1,407	1,379	1,320
外来延患者数(千人)	2,670	2,574	2,506	2,479	2,389
病床数(床)	5,221	5,148	5,059	5,007	4,849
病床利用率(%)	73.7	73.9	75.1	74.3	73.9
外来・入院比率(%)	186.8	184.3	178.1	179.8	181.0

第19表 病床の利用率

年度 規模	500床以上	300床以上 500床未満	200床以上 300床未満	100床以上 200床未満	100床未満	計
20年度	86.1	74.1	76.2	59.5	77.1	73.7
21年度	83.4	67.9	74.7	62.8	77.5	73.9
22年度	82.4	71.7	82.8	64.0	73.1	75.1
23年度	79.4	71.4	84.0	63.0	75.9	74.3
24年度	79.6	74.8	80.1	64.4	71.6	73.9

(2) 収益的収支の状況

単年度収支では26施設中14施設で27億4,029万3千円の純利益を生じたが、12施設が合わせて19億8,008万4千円の純損失を生じ、累積欠損金は488億7,054万9千円で、前年度536億2,319万5千円から47億5,264万6千円（8.9%）減となっている。

不良債務額は25億6,798万4千円で、前年度45億9,326万9千円から20億2,527万6千円（44.1%）の減となっている。

[第20表]

第20表 経営状況の推移

(単位：千円、%)

年 度		年 度					増 減 率 (24/23)
		20 年 度	21 年 度	22 年 度	23 年 度	24 年 度	
項 目							
総 収 益		85,555,566	87,222,090	91,461,625	94,783,688	91,473,184	△ 3.5
うち 医 業 収 益 (A)		76,487,784	77,841,918	80,670,273	80,303,803	79,652,524	△ 0.8
総 費 用		88,610,762	89,160,104	91,671,487	92,233,436	90,712,975	△ 1.6
純 利 益		786,657	939,521	2,082,304	5,065,369	2,740,293	△ 45.9
純 損 失 (B)		3,841,853	2,877,535	2,292,166	2,515,117	1,980,084	△ 21.3
累 積 欠 損 金 (C)		65,474,969	56,922,733	57,245,774	53,623,195	48,870,549	△ 8.9
不 良 債 務 額 (D)		11,437,521	11,609,451	8,496,816	4,593,260	2,567,984	△ 44.1
赤字額 等の医 業収益 に対する割合	(B) / (A)	5.0	3.7	2.8	3.1	2.5	
	(C) / (A)	85.6	73.1	71.0	66.8	61.4	
	(D) / (A)	15.0	14.9	10.5	5.7	3.2	
施 設 数 (E)		27	26	26	26	26	0.0
純 損 失 を 生 じ た 施 設 数 (F)		18	15	12	12	12	0.0
累 積 欠 損 金 を 有 する 施 設 数 (G)		25	23	24	22	19	△ 13.6
不 良 債 務 を 有 する 施 設 数 (H)		17	15	12	7	4	△ 42.9
純 損 失 を 生 じ た 施 設 数 の 割 合 (F) / (E)		66.7	57.7	46.2	46.2	46.2	
累 積 欠 損 金 を 有 する 施 設 数 の 割 合 (G) / (E)		92.6	88.5	92.3	84.6	73.1	
不 良 債 務 を 有 する 施 設 数 の 割 合 (H) / (E)		63.0	57.7	46.2	26.9	15.4	
総 収 益 対 総 費 用 比 率		96.6	97.8	99.8	102.8	100.8	

(3) 資本的収支の状況

資本的収入は144億882万1千円（前年度106億7,724万9千円）で、対前年度比34.9%の増、資本的支出も176億1,009万3千円（前年度133億4,950万1千円）で、対前年度比31.9%の増となっている。

財源内訳は、内部資金等補てん財源が前年度より22.6%の増、外部資金は企業債が142.7%の増、他会計出資金等の一般会計繰入金は1.8%の増となっている。〔第21表〕

第21表 資本的収支の状況

(単位：千円、%)

項目	区分 年度	金額		増減率 (24 / 23)	
		23年度	24年度		
資本的支出	建設改良費	5,296,486	7,797,580	47.2	
	企業債償還金	8,020,332	9,778,600	21.9	
	その他	32,683	33,913	3.8	
	計	13,349,501	17,610,093	31.9	
財源内訳	内部資金	2,568,393	3,147,615	22.6	
	外部資金	10,677,249	14,408,821	34.9	
	うち	企業債	2,696,800	6,544,400	142.7
		他会計出資金	3,464,732	4,014,140	15.9
		他会計負担金	1,904,334	2,085,499	9.5
		他会計借入金	385,000	0	△ 100.0
		他会計補助金	244,118	5,100	△ 97.9
		調整項目			
	財源不足額	103,859	53,657	△ 48.3	
	計	13,349,501	17,610,093	31.9	

(4) 資金繰りの状況

流動比率（流動資産／流動負債）は150.1%と前年度（121.1%）より29.0ポイント高くなっている。

第22表 資金繰りの状況

(単位：千円、%)

年度	項目 流動比率	一時借入金の状況	
		一時借入金	医業収益に対する割合
20年度	75.5	24,316,526	31.8
21年度	77.3	23,419,555	30.1
22年度	89.4	19,602,007	24.3
23年度	121.1	14,015,615	17.6
24年度	150.1	11,876,013	14.9